

令和5年度南光台東中学校学力向上策

私たちは「**自立した学び手**」の育成に本気で取り組みます。

1 「単元テスト」を継続します。

「テスト」の一番の目的は、学習の習熟度を測り、得意分野に気付いたり課題を見つけたりしてその後の学習の仕方を見直すことです。従来の「定期考査」に変えて、各教科、単元ごとに習熟度を測る「単元テスト」を行うことで次のような成果が期待できます。

「一発勝負のテスト」から「**成果を測るチャンスの増加**」へ
「定期考査前の一時的な学習」から「**継続した学習習慣の獲得**」へ
「総点に一喜一憂するテスト」から
「**自らの得意分野や課題に気付き、自分で勉強の仕方を考える節目のテスト**」へ
「評価のためのテスト」から「**力を付けるためのテスト**」へ

また、教師自作の課題と市販のテスト問題を併用することで、妥当性、客観性の高い評価の実現に努め、教師自身が、「育てたい資質能力に沿った指導と評価が実現できているか」を注視しながら指導に当たることを引き続き心掛けていきます。

その他、年に4回（3年生のみ5回）程度の「実力考査」を実施し、応用力を養って受験に備えます。

2 朝は「読書の時間」で一日をスタートします。

知識や語彙、論理を得たり、情操を豊かにしたりする読書は、継続することで学力向上に大きく影響することが知られています。その上、朝に読書タイムを設定することで「学ぶ心構え」が整い、授業の中で深い学びが実現されている例が数多く報告されています。

朝の10分間を「読書の時間」とし、教師と生徒が共に本と向き合い、心を耕します。

3 「協働的に課題解決を図る生徒の育成」を目指します。

令和5年度、私たち教職員は、「『話し合い』を通して効果的に学びを深める」手立てを追究することで、「協働的に課題解決を図る生徒の育成」を目指します。

4 Chromebook の効果的な活用に努めます。

Chromebook を活用し、個別最適な学び、協働的な学びの充実に努めます。

また、登校して授業に参加することができない状況においては、生徒、御家庭の希望を伺いつつ、オンライン授業を拡大していきます。

